

問1 関東地方の房総半島からその周辺にかけて広がる地域は、北部に国立公園に指定されたリアス海岸があり、南部には大規模な埋立地が造成されています。この地域における、高度経済成長期以降の工業の発展の様子を説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 国際貿易港に隣接する岬などの地形を活かして造船所が作られ、埋立地には輸入原料を利用する大規模な製鉄所が建設された。 | 2. 穏やかな海面と広大な塩田跡地を利用して、石油化学コンビナートや自動車工場が集中する、瀬戸内海沿岸の工業地域を形成した。 | 3. 豊かな森林資源と水資源を活かして、明治時代から製紙・パルプ工業が発達し、現在も沿岸部を中心に国内有数の出荷額を誇っている。 | 4. 広大な平野と冷涼な気候を活かして、大規模な畑作や酪農と結びついた食料品工業が、広域的な交通網に沿って発展した。 |
|--|--|--|--|

問2 神奈川県逗子市の地域調査において、逗子駅から出発して南へ進み、逗子銀座商店街を抜けた先にある田越川を渡って海岸へ向かう計画を立てました。このとき、田越川に架かる「東郷橋」を渡った先に位置する、相模湾に面したレジャーに適した場所の名称を答えなさい。 (2025年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-----------|---------|--------|
| 1. 三浦海岸 | 2. 逗子海水浴場 | 3. 由比ヶ浜 | 4. 江の島 |
|---------|-----------|---------|--------|

問3 関東地方の各都県を比較した統計において、埼玉県は「昼夜間人口比率」が全国でも極めて低い水準にあります。この指標の説明および埼玉県の状況として正しいものはどれですか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 夜間人口100人に対する昼間人口の割合のことで、埼玉県では100を大きく下回っている。 | 2. 面積1平方キロメートルあたりの昼間人口のことで、埼玉県は東京都よりも高い数値である。 | 3. 1年間の人口流入数と流出数の差のことで、埼玉県では流入数が流出数を上回っている。 | 4. 昼間人口100人に対する夜間人口の割合のことで、埼玉県では100を大きく上回っている。 |
|--|---|---|--|

問4 京葉工業地域では、化学工業や金属工業といった大規模な工場が東京湾沿岸の広大な埋立地に集中的に立地しています。このように、基礎素材産業の工場が海岸沿いに多く集まっている理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 周辺にある精密機械工場へ、加工済みの部品を即座に供給するための物流拠点を兼ねているため | 2. 工業に必要な広大な用地を確保する際、地価の高い都市部を避けて内陸の農地を転用するよりも費用が安く済むため | 3. 原料となる原油や鉄鉱石の多くを海外からの輸入に頼っており、大型船舶による搬入や製品の出荷に便利のため | 4. 製品の軽量化が進んだため、高速道路網を利用して内陸部の消費地へ迅速にトラック輸送を行う必要があるため |
|--|---|---|---|

問5 ある地域の常住人口（夜間人口）に対する、昼間その地域にいる人口の割合を「昼夜間人口比率」と呼びます。東京都のように、この数値が100を大きく上回る都市において、人口がこのように変化する主な理由として適切なものはどれですか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 観光客が夜間に宿泊施設を求めて周辺の県へ移動するため | 2. 周辺の地域から、仕事や通学のために多くの人々が移動してくるため | 3. 東京都の合計特殊出生率が周辺の県と比較して極めて高いため | 4. 東京都は面積が狭く、1平方キロメートルあたりの人口密度が高いため |
|-------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|

問6 関東地方の各都県の工業について述べた次の文のうち、2011年の統計において製造品出荷額の合計が約11兆9000億円にのぼり、化学や石油・石炭製品、鉄鋼などの重化学工業を主体とする千葉県の特徴を説明しているものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 印刷業や出版業の割合が他県に比べて高く、出荷額合計は約8.9兆円である。 | 2. 情報通信機械器具などの電気機械工業の割合が高く、内陸型の工業が発達している。 | 3. 自動車などの輸送用機械の割合が最も高く、出荷額合計は約17.9兆円に達する。 | 4. 化学・石油・鉄鋼を中心とした大規模な工場が集まり、重化学工業の割合が突出している。 |
|---|---|---|--|

問7 地方別の農業産出額の構成を示した統計において、野菜の占める割合が約40%と極めて高く、花きも約8%に達している一方、米の割合が10%台にとどまっている地方があります。このように、大都市という巨大な消費地に近い利点を生かし、新鮮な野菜や花などを生産して出荷する農業の形態を何といいますか。 (2019年 奈良県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 抑制栽培 | 2. 適地適作 | 3. 近郊農業 | 4. 促成栽培 |
|---------|---------|---------|---------|

問8 関東地方の4都県（東京、神奈川、埼玉、千葉）の製造品出荷額について、それぞれの特徴を説明した文として正しいものはどれですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 埼玉県は内陸に位置するため重化学工業は発達しておらず、印刷業が最大の出荷額を占めている。 | 2. 神奈川県は輸送用機械の割合が高く、製造品出荷額の合計は17兆円を超え、4都県の中で最大である。 | 3. 東京都は化学工業の割合が10%を超えており、京浜工業地帯における化学製品の供給拠点となっている。 | 4. 千葉県は京葉工業地域の中核であり、輸送用機械が製造品出荷額の約17.6%を占める最大の産業である。 |
|---|--|---|--|

問9 北関東工業地域に属する栃木県の工業について、製造品出荷額の構成における特徴を述べた文として、正しいものはどれか。 (2022年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 輸送用機械器具と並んで、電気機械器具の出荷額の割合が高い。 | 2. 伝統的な繊維工業が現在でも最も盛んであり、機械工業の割合は低い。 | 3. 東京湾沿いの立地を活かした、原油の精製や化学製品の製造が中心である。 | 4. 石油化学工業と鉄鋼業が、県全体の出荷額の過半数を占めている。 |
|----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|

問10 関東地方の各都県における製造業の地域特性について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 千葉県では情報や出版産業の集積により、印刷関連の製造品出荷額の割合が最も高い。 | 2. 東京都では大規模な製鉄所が多く位置することから、鉄鋼の製造品出荷額の割合が極めて高い。 | 3. 群馬県では自動車をはじめとする輸送用機械の割合が高く、千葉県では臨海部の石油・石炭製品の割合が高い。 | 4. 群馬県では臨海工業地帯が形成されているため、石油・石炭製品の出荷額が最も大きな割合を占めている。 |
|--|--|---|---|

問11 栃木県の冬の気候について、北西の山地側から吹き下ろす乾燥した季節風の影響により、晴天の日が多く、日照時間が長くなるという特徴があります。この現象が起こる背景として、地形と風の関係を説明した記述のうち最も適切なものはどれですか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 冬の冷たい季節風が関東平野で上昇気流となり、山地で雪を降らせた後に、再び湿気を含んだ風として平野部へ戻るため。 | 2. 日本海側から吹く湿った季節風が、本州中央部の山地を越える際に水分を失い、乾いた風となって栃木県側に吹き下ろすため。 | 3. 南東の海側から吹く季節風が、栃木県北西部の山地によって遮られることで、平野部に湿った空気が届かなくなるため。 | 4. 太平洋側から吹き込む暖かく湿った季節風が、渡良瀬川や鬼怒川などの河川沿いに北上し、山地で乾燥した空気に変化するため。 |
|--|--|---|---|

問12 関東地方の北部に位置する群馬県のように、日本の都道府県の中には「県名」と「県庁所在地の名称」が異なるものが存在します。群馬県の県庁所在地である都市名として正しいものを選びなさい。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 前橋市 | 2. 水戸市 | 3. 宇都宮市 | 4. 高崎市 |
|--------|--------|---------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 国際貿易港に隣接する岬などの地形を活かして造船所が作られ、埋立地には輸入原料を利用する大規模な製鉄所が建設された。	千葉県周辺の沿岸部は、北部のリアス海岸と南部の埋立地という対照的な地形を併せ持っています。高度経済成長期には、大型船が接岸しやすい埋立地や、水深の深い港湾付近の岬に、原料を海外から輸入する製鉄所やその運搬を担う船舶を製造する造船所が次々と建設され、京葉工業地域などの重厚長大産業の拠点となりました。
問2	答え 2 逗子海水浴場	逗子駅の南側に位置する逗子銀座商店街を通り、田越川に架かる東郷橋を渡ると、相模湾に面した逗子海水浴場に到達します。この一帯は市街地、河川、砂浜が近接しているという地形的特徴があります。
問3	答え 1 夜間人口100人に対する昼間人口の割合のことで、埼玉県では100を大きく下回っている。	昼夜間人口比率は「(昼間人口÷夜間人口)×100」で算出されます。埼玉県は、夜間人口が約719万人に対し、昼間人口が約637万人と大きく下回っており、比率は90人を割り込んでいます。これは、日中に県外へ通勤・通学する人口が、県内へ入ってくる人口よりも圧倒的に多いことを示しています。
問4	答え 3 原料となる原油や鉄鉱石の多くを海外からの輸入に頼っており、大型船舶による搬入や製品の出荷に便利のため	石油化学工業や製鉄業は、海外から大量の原油や鉄鉱石を輸入する必要があります。大型船舶が直接接岸できる水深の深い港湾付近に工場を置くことで、輸送コストを大幅に抑えることができます。このような立地を「臨海型」と呼び、京葉工業地域の発展を支える大きな要因となりました。一方、電子部品や自動車などは輸送効率を重視し、インターチェンジ付近の内陸部に立地する傾向があります。
問5	答え 2 周辺の地域から、仕事や通学のために多くの人々が移動してくるため	昼夜間人口比率は、夜間人口に対する昼間人口の割合を百分率で示したものです。東京都はオフィスや学校が集中しているため、昼間に周辺の県から通勤・通学者が流入し、昼間人口が夜間人口を大きく上回ります。逆に、住宅地が多い周辺の県（ベッドタウン）では、この比率が100を下回る傾向があります。
問6	答え 4 化学・石油・鉄鋼を中心とした大規模な工場が集まり、重化学工業の割合が突出している。	千葉県は、京葉工業地域において原材料の輸入や製品の輸出に便利な臨海部の特性を活かし、化学、石油・石炭製品、鉄鋼の3業種で出荷額の半分以上を占める産業構造を持っています。選択肢にある輸送用機械中心の構成は神奈川県（京浜工業地帯）、印刷業の高さは東京都、情報通信機械の高さは山形県などの特徴に該当します。
問7	答え 3 近郊農業	東京都や横浜市などの大消費地を抱える関東地方では、輸送時間を短縮できる利点を生かし、鮮度が重要視される野菜や花きの生産に力を入れています。この農業形態は「近郊農業」と呼ばれ、他の地方に比べて野菜の産出額割合が非常に高いことが統計上の大きな特徴となっています。対して、米の割合が低いのは、農地が宅地化されたり、より収益性の高い野菜栽培へ転換されたりしたためです。
問8	答え 2 神奈川県は輸送用機械の割合が高く、製造品出荷額の合計は17兆円を超え、4都県の中で最大である。	神奈川県は自動車などの輸送用機械の製造が盛んで、製造品出荷額の合計は約17.8兆円と関東地方で最も高い規模を誇ります。千葉県で割合が高いのは石油・石炭製品や化学工業であり、輸送用機械や食料品がバランスよく構成されているのは埼玉県の統計に見られる特徴です。また、東京都は印刷業が特徴的ですが、化学工業の割合は高くありません。
問9	答え 1 輸送用機械器具と並んで、電気機械器具の出荷額の割合が高い。	栃木県は茨城県、群馬県とともに北関東工業地域を形成しています。かつては繊維工業が盛んでしたが、現在は東北自動車道などの高速道路網の整備を背景に、内陸型の機械工業が発展しています。特に、自動車などの輸送用機械器具と、テレビやエアコンなどの電気機械器具の製造が県の主要な産業となっており、これら2つの部門が高い割合を占めるのが特徴です。
問10	答え 3 群馬県では自動車をはじめとする輸送用機械の割合が高く、千葉県では臨海部の石油・石炭製品の割合が高い。	群馬県では内陸部の輸送機器（自動車など）の生産が盛んであり、千葉県では京葉工業地域などの臨海部で石油・石炭製品の割合が高くなっています。東京都では出版や情報の集積に伴い、印刷の割合が高くなるのが特徴です。
問11	答え 2 日本海側から吹く湿った季節風が、本州中央部の山地を越える際に水分を失い、乾いた風となって栃木県側に吹き下ろすため。	日本の冬は、ユーラシア大陸から日本海を渡って北西の季節風が吹きます。この風は日本海で水分を蓄えますが、奥羽山脈や三国山脈などの高い山地を越える際に、日本海側に雪を降らせて水分を失います。その結果、山を越えた栃木県側には乾燥した風が吹き下ろし、雲が発生しにくいため、晴天の日が多くなり日照時間が長くなるという太平洋側の気候の特色が現れます。
問12	答え 1 前橋市	群馬県の県庁所在地は前橋市です。同じ関東地方の北部にある栃木県（宇都宮市）や茨城県（水戸市）も、県名と県庁所在地の名前が異なる県として知られています。高崎市は群馬県内において前橋市と並ぶ主要な都市で、交通の要所ですが、県庁所在地ではありません。